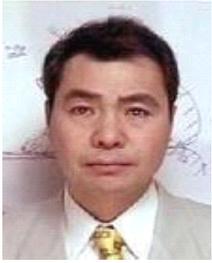


このたびは、精神工学研究所の商品を、ご購入いただきありがとうございます
精神工学研究所の、山西 茂です



感謝の気持ちを込めまして、ささやかな贈り物をさせていただきたいと思えます
どうか、お受け取りください

さて、同封いたしましたのは「金運の御札」です
財布などに入れておきますと、金運が良くなる効能が期待できます

「なんだ！こんなものか」と思われましたか？
このような「金運グッズ」は、効果がないと思われませんか？

じつはこのようなおまじないのようなものも、単なる迷信ではないという研究もございます
お聞きください

この、「金運の御札」は裏面に説明がありますように、印鑑の印相鑑定を応用したのになっています
つまりお札（紙幣）の表には、財布からお金がどんどん出ていくような印相に、鑑定された印を押しています

そしてお札（紙幣）の裏面には、それとはまったく逆の、**財布にお金がどんどん入って来るような、印相に鑑定された印**を押しています

つまり両方の印鑑の効果により、財布にお札が入ってきてすぐに出て行くように、設計されているのです

その結果、日本全体ではお金がどんどん回転して、つまり日本の経済が良くなるような願いを込めて、紙幣（日本銀行券）は制作されています

これは、明治時代からずっとそのような印相効果が期待されて使われていて、現在も当時と同じ印鑑が使用されているのです

ですから、紙幣（日本銀行券）の裏面の印鑑だけを取り出して押すと、「財布にお金がどんどん入って来る」印相効果が期待できます

これが、「金運印鑑効果の御札の原理」なのです

確かに世の中には、さまざまな占いがあり、当たったり当たらなかったり、その効果は玉石混淆です
しかしここで紹介している印相効果は、少なくとも当時の日本政府がその効果を勘案して制作されたものなので
す

おそらく名のある印相鑑定士が、監修しているとみて間違いありません

そしてこの21世紀の世の中になっても、当時と同じ印鑑がまだ使用されていることを考えると、現在の造幣局も少なからずその効果を信じていると推測ができます

私は占いや呪いの効能は存在していて、その科学的理由があると思います

それは著名な精神分析学者であるC. G. ユングの提唱した、「集合的無意識」の概念によって説明できると考えているのです



つまり迷信のようなものでも、皆がそれが存在すると信じると、「集合的無意識」にそれが書き込まれるのです
そして、「集合的無意識」にそれが書き込まれると、効果を発揮すると考えています

例えば、本当のお金ですが、あれは実際は有名人が印刷された紙切れに過ぎません

つまり、有名人が印刷された紙切れに過ぎないものでも、国民の大多数が経済的価値を持つと信じることによって、紙幣（日銀券）は効果を持ちます

もし紙幣（日銀券）がたんなる紙切れであっても、**現代人はお金持ちの人にある種の畏敬の念を持つのが普通**です

しかし紙幣（日銀券）がたんなる紙切れであるなら、その紙切れを多数持っているからといって、猛獣のように恐れる気持ちを持つ必要があるでしょうか？

なぜ紙幣（日銀券）がたんなる紙切れであって、その紙切れを多数持っている人に、恐れるような気持ちを持つてしまうか？

それは「集合的無意識」にそのように書き込まれている、その効果ではないでしょうか？

つまり本当に当たる占いや呪いは、そのような原理が作用していると私は考えています

この金運印鑑効果の御札も、そのような原理を応用しています

ということは「集合的」無意識ですから、多数の人にその効果を知ってもらえることで、効果を発揮することが予想できます

実際、自分の周りの人の7・8人がこれを持つようになったときに、効果が現れはじめたという報告がありました

※使い方

ご自分のお財布に、1枚お入れ下さい

残りは、お友達やお知り合いの方に、プレゼントしてください

その際、「1万円札の裏側の印鑑には、お金を呼び寄せる効果がある！」ことを、申し添えていただきたいと思います